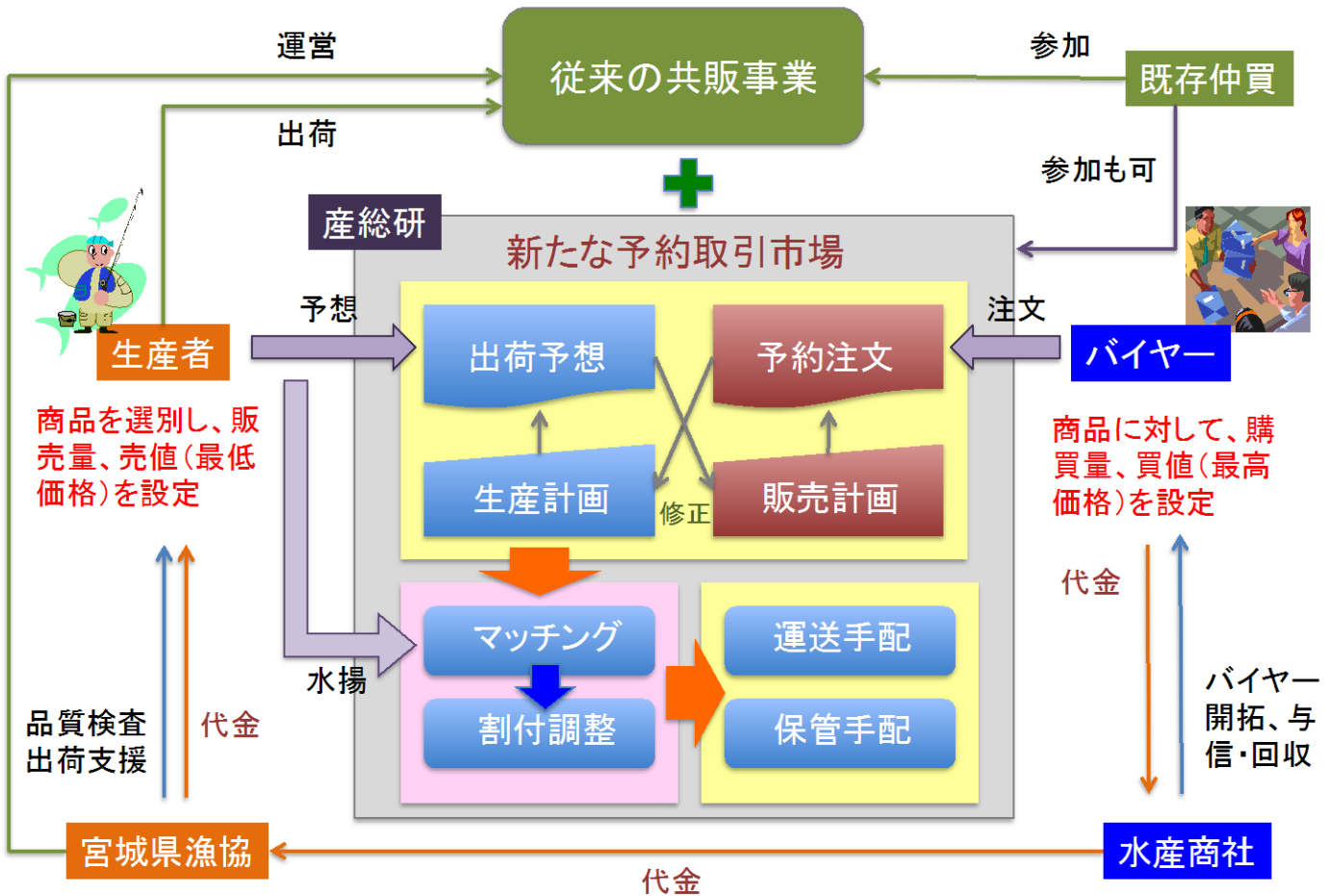


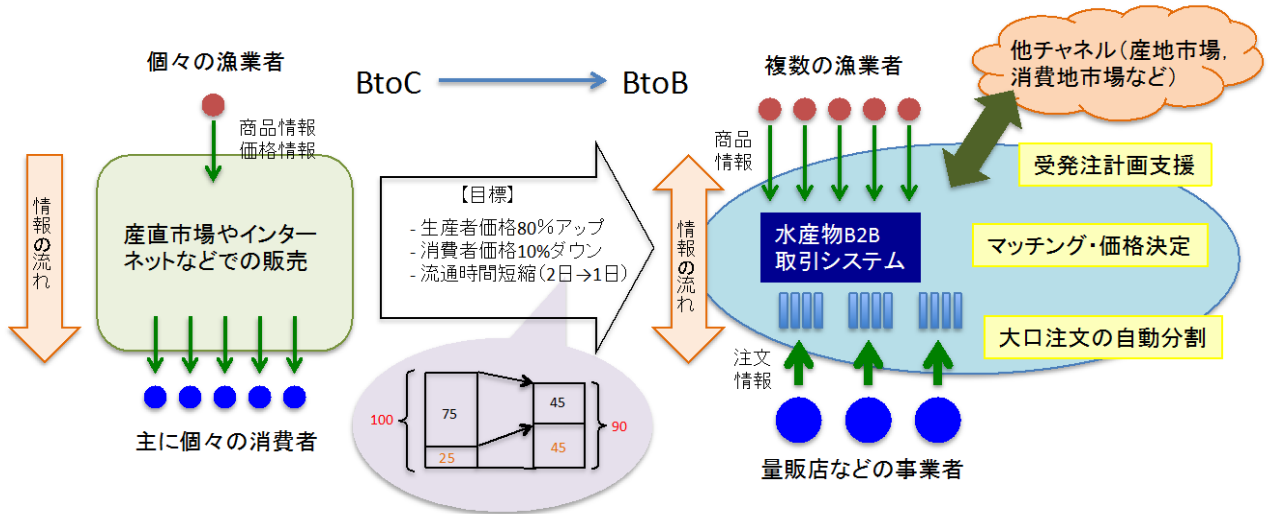
養殖カキの共販事業における 予約取引市場に関する実証研究

養殖カキを予約販売可能な電子市場を構築し、
 カキ生産者の収益性を改善する販売モデルを構築する。



- 研究代表機関
 (独) 産業技術総合研究所
- 普及・実用化支援組織
 宮城県漁業協同組合

水産物電子商取引システムの開発



【課題】

- ・個々の漁業者の水揚げは量、種類とも限られており、しかも不確定。
- ・水揚げ後、水産物の価値は急速に低下する。

BtoBを対象とした取引には不適

大口事業者による水産物の直接仕入れが困難

【特徴】

- ・大口注文を自動分割することで、地域の小規模漁業者が量販店などの注文に対応可能。
- ・取引成立を優先した需給マッチングを行い、売れ残りの発生を抑える。
- ・需給情報の見える化により、受発注計画の事前調整が可能。

BtoB向け電子商取引

実現

バイヤーへのメリット		セラーへのメリット
多くのセラーと直接、商品が取引できる。	ネットによるメリット	全国のバイヤーへの販路開拓が低コストで実現。
予約ができるので長期での調達計画が立てやすくなる。	予約によるメリット	受注を確認してから出漁・生産調整ができるため、コストを合理的にコントロールし乱獲・値崩れも防げる。
調達量不足を多数のセラーとの取引でヘッジできる。	多対多取引によるメリット	小規模生産者でも大口注文の一角を担うことが可能に。

研究目標

収益倍増のための基本戦略

かき共販実績推移(生産年度)

1.むき身(月別)

月別	共販数量(kg)					共販金額(円)					平均単価(円/kg)				
	20年	21年	22年	23年	24年	20年	21年	22年	23年	24年	20年	21年	22年	23年	24年
9月		75,014	57,976				138,330,116	83,597,597				1,844	1,442		
10月	536,467	752,887	609,030	6,640	48,380	651,981,075	986,765,251	827,356,839	10,624,000	114,817,290	1,215	1,311	1,358	1,600	2,373
11月	897,859	779,641	723,260	63,160	107,667	1,071,191,092	976,323,486	1,122,373,241	99,476,000	211,349,080	1,193	1,252	1,552	1,575	1,963
12月	875,059	840,646	659,044	69,980	113,346	911,043,682	1,131,849,252	976,201,184	103,502,000	223,613,260	1,041	1,346	1,481	1,479	1,973
1月	765,971	710,481	571,420	54,460	114,702	780,376,487	680,170,980	764,855,216	54,223,000	116,580,520	1,019	957	1,339	996	1,016
2月	532,427	482,711	401,787	73,180	94,080	402,266,860	413,559,130	388,671,325	59,256,000	82,247,560	756	857	967	810	874
3月	317,800	307,043	96,599	46,090	73,961	164,784,910	189,571,210	90,713,300	36,872,000	63,990,740	519	617	939	800	865
4月	221,098	169,559		5,360	24,327	119,789,240	134,113,530		4,020,000	15,122,020	542	791		750	622
5月	184,652	178,696			20,840	101,432,360	135,075,270			10,649,400	549	756			511
合計	4,331,332	4,296,677	3,119,114	318,870	597,303	4,202,865,706	4,785,758,225	4,253,768,702	367,973,000	838,369,870	970	1,114	1,364	1,154	1,404

出荷量減少

単価低下

春に向けカキの品質は向上する。



年明けの生産量を増やし、業務筋に単価を上げて販売する。

より、本質的には

- ・生産地から消費地への多様な出荷形態の実現
- ・生産原価の明確化
- ・消費者からの情報フィードバックと生産への反映



継続可能なカキ養殖業の実現

問合せ先

- 担当 産業技術総合研究所 主任研究員 宮下和雄
- Tel: 029-861-5963
- E-mail: k.miyashita@aist.go.jp